

市報

松江

5

May

特集 松江市の令和8年度
当初予算が決まりました



小泉八雲とセツが出会ったまち 松江



5月16日松江市役所全館グランドオープン

松江市の令和8年度 当初予算が決まりました

財政課 ☎55-5182

一般会計予算総額は過去最大の1,194億円

今年度当初予算は、エネルギー価格や物価の高騰に対応しつつ、限りある財源を[MATSUE DREAMS 2030]に掲げる5つの柱に沿った施策に重点的に配分しました。

地域資源を生かした「松江ならでは」の、他の自治体に先駆けた取り組みに積極的にチャレンジし、本市のめざす将来像「夢を実現できるまち 誇れるまち 松江」の創造に向けて市政の歩みを着実に進めていきます。

物価高騰対策事業

市民生活と地域の事業者を支援

国の総合経済対策に呼応した物価高騰対策の実施

食料品等物価高騰に対する支援

12億円

食料品やエネルギーの価格高騰などの影響を受けている市民生活を支援するため、すべての市民に5,000円分の商品券「生活応援 おまっちゃんお買物券」を配布します。



小中学校、幼稚園、
保育所などでの
安定的な給食の提供と
家計負担の軽減



7億8,159万円

給食費の上昇を抑制することで家計への影響を軽減します。

松江市総合計画「MATSUE DREAMS 2030」の 5つの柱に沿った主な事業

MATSUE
DREAMS
2030

小泉八雲・セツのドラマを
活用した観光振興

3,300万円

連続テレビ小説「ばけげげ」のドラマ終了後もプロモーションやイベントなどを継続実施し、本市への誘客促進を図ります。



小泉八雲とセツが生まれたまち 松江

松江大根島牡丹の振興

828万円

市花である牡丹の振興のため、生産農家・JA・島根県との連携や台湾との牡丹による交流をすすめる、新たな担い手の確保や販路拡大に向けて取り組みます。



▲牡丹栽培体験（7年10月）



I しごとづくり

地域に根差した産業を育み、
持続可能な地域経済を導く

アメリカ誘客促進・スタートアップ連携の
事業化促進

1,335万円

ロサンゼルスとシリコンバレーを訪問し、インバウンド観光誘客の促進やビジネス連携・ネットワークの創出をめざします。



▲ニューヨークでの観光セミナー



Ⅱ ひとづくり

こどもたちを大切に育て、個性と可能性を伸ばすことができる地域社会の形成

電子図書館システム導入による読書バリアフリー対応と青少年への読書普及

923万円

電子図書館システムの導入により、読書の選択肢を増やし、すべての人が本を楽しむ環境を整備します。



産後ケア事業の推進

5,119万円

年々利用者が増えている「通所型産後ケア」の提供施設を増やし、利用ニーズに対応することで、より安心してこどもを産み育てられる環境を整えます。



重要伝統的建造物群保存地区選定に向けた取り組み

943万円

美保神社周辺に残る歴史的な町並みについて、国の文化財である「重要伝統的建造物群保存地区」の選定をめざします。また、町並みの保存・活用整備を行います。



青石畳通り▶



Ⅲ つながりづくり

歴史・伝統・文化・芸術・スポーツの魅力で人と人とのつながりを創出

松江が誇る伝統芸能の祭典の開催

600万円

佐陀神能のユネスコ無形文化遺産登録15周年を記念し、県外団体を招き合同公演「神能かむくら」と「松江伝統芸能祭」を同時開催します。



佐陀神能▶



Ⅳ どだいづくり

安心・安全な暮らしを守る、健康・医療・福祉の充実と都市基盤整備

共同運行の開始に合わせた「共通通学定期」の新規導入・バス停看板の美装化

3,313万円

8年4月の一畑バス・市交通局の2社局による共同運行開始に合わせて、路線バスの利便性を向上させるとともに、バス停など利用環境の整備を行います。



松江市文書館と埋蔵文化財調査センターの一体的整備

1億3,224万円

新たに松江市文書館と松江市埋蔵文化財調査センターを整備・併設することで、文献資料と埋蔵文化財を一体的に調査研究・発信します。



明治時代の▶
本市条例集



▲「中海・宍道湖8の字ルート」整備イメージ

圏域5市（松江市・出雲市・米子市・安来市・境港市）と大山圏域7町村が相互に連携し、それぞれの強みとスケールメリットを生かして、圏域の発展を図ります。



Ⅴ なかまづくり

中海・宍道湖・大山圏域のスケールメリットと地域資源を生かした広域連携

中海・宍道湖・大山圏域市長会の連携強化

3,790万円

令和8年度予算の詳しい内容はP8に掲載しているほか、市ホームページでも公開しています。



(市HP)